

2018年度 助成対象研究・研究者

応募総数185件の中から選考の結果、29件、総額3,570万円の助成を決定しました。

(研究者50音順、敬称略、単位：万円)

研究者名	所属	役職	研究テーマ	助成金額	
池上 啓太	山陽小野田市立山口東京理科大学	工学部	准教授	吸着点自己増殖型新規二酸化炭素吸着剤の開発	120
石毛 亮平	東京工業大学	物質理工学院応用化学系	助教	偏光多角入射分解赤外分光 (pMAIRS) 法に基づく高分子薄膜の三次元分子配向解析法の開発	120
今田 早紀	京都工芸繊維大学	電気電子工学系	准教授	Ti添加AINの異常バンドギャップ狭小機構の解明と可視光光電変換材料としての最適化研究	70
遠藤 求	奈良先端科学技術大学院大学	大学院バイオサイエンス領域	教授	食料廃棄の低減による温室効果ガスの排出抑制を目的とする効率的な栽培制御技術の開発	140
大山 陽介	広島大学	大学院工学研究科	教授	蛍光性色素の電子・電荷移動特性に基づいた水分検出・定量・可視化蛍光分析法の創成	120
加藤 正史	名古屋工業大学	大学院工学研究科	准教授	キャリア寿命分布評価を利用したGaN縦型パイポラデバイスの高性能化	140
角家 健	北海道大学	医学研究院	特任講師	細胞接着を介した軸索再生メカニズムの解明	140
川崎 慎司	岡山大学	大学院自然科学研究科 (理学部)	准教授	単層型銅酸化物高温超伝導体における電荷密度波・擬ギャップ・超伝導の起源解明	100
小林 芳成	岐阜大学	工学部	助教	レーザー点火におけるサードローブ形成・消炎メカニズムの解明とその制御手法の確立	100
近藤 誠	大阪大学	大学院医学系研究科	准教授	運動による抗うつ効果の分子機序に着目したうつ病の新規治療薬開発	115
櫻井 文教	大阪大学	大学院薬学研究科	准教授	血液凝固因子遺伝子の胎盤特異的な導入・発現による血友病胎児の治療に関する研究	160
佐藤 正寛	東京大学	先端科学技術研究センター	助教	多階層モデリングによる高分子コンポジット材料の創成	165
千坂 光陽	弘前大学	大学院理工学研究科	准教授	ソノケミカル合成を利用したチタン系燃料電池正極触媒の高性能化	160
坪井 泰之	大阪市立大学	理学研究科	教授	量子の世界に足を踏み入れた革新的光マニピュレーションシステムの開発	120
劔 隼人	大阪大学	大学院基礎工学研究科	准教授	原子レベルで精密に組み上げるナノスケール分子磁性材料の開発	105
寺澤 大樹	兵庫医科大学	医学部	助教	高移動度グラフェンにおける希ガス吸着によるスピンホール効果実現	160
中田 憲男	埼玉大学	大学院理工学研究科	助教	配位重合法に立脚した代替ジェット燃料の革新的合成法の開発	100
並河 英紀	山形大学	理学部	教授	アルツハイマー病原因物質アミロイドβ線維の形成に対する非平衡分子科学的解明	160
根岸 淳	信州大学	繊維学部	助教	真空加圧含浸法を用いた細胞含有コラーゲン材料の作製と脂肪再生機能解析	115
吹留 博一	東北大学	電気通信研究所	准教授	動作しているデバイスの埋もれた層の電子状態観察法の確立と超高速デバイスへの応用	120
藤森 真一郎	京都大学	大学院工学研究科	准教授	食料廃棄物の削減策の環境負荷物質排出量及び食料安全保障への影響に関する研究	60
細越 裕子	大阪府立大学	大学院理学系研究科	教授	有機分子のn電子スピンをを用いた高機能マルチフェロイクス材料の開発	120
本田 晴香	熊本高等専門学校		助教	魚類培養細胞スフェロイドの基礎特性評価とそれを用いた水質評価試験への応用	85
森口 茂樹	東北大学	大学院薬学研究科	講師	KATPチャネルの認知・精神機能調節における病態生理学的役割の解明	145
森本 大智	京都大学	大学院工学研究科	助教	筋萎縮性側索硬化症原因タンパク質SOD1のアミロイド形成機序の解明	170
安田 充	関西学院大学	理工学部	研究特別任期制助教	ナノ薄膜干渉基板を用いたマルチカラー蛍光増強イメージング技術の開発	125
山尾 僚	弘前大学	農学生命科学部	助教	植物の競争応答を利用した水耕栽培における生産性向上技術の開発	100
山崎 淳平	北海道大学	大学院獣医学研究院	助教	TET2によるエンハンサー特異的DNA脱メチル化機構の解明	115
山田 泉	京都大学	工学研究科	特定助教	水電解質を使用したナトリウム二次電池に関する基礎研究	120

※研究者の所属・役職は、申請時のものです。